

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の 利用目的及び 利用方法》	●研究の名称 在宅血液透析（HHD）導入に向けた当院の体制構築に関する研究 — 多職種連携による課題解決と看護師の役割の整理 —
	●研究の対象 2024 年 1 月から 2026 年 6 月までの間に、当院 HHD 導入に向けたワーキンググループおよび関連部署において体制構築の業務に携わった当院職員、ならびに体制構築の検討過程で議論の対象となった患者さん
	●研究の目的 在宅血液透析（HHD）は、ご自宅で血液透析を行う治療法であり、生活スタイルに合わせて治療時間や頻度を調整できる可能性があるため、生活の質の維持や仕事・家庭との両立に役立つ治療法の一つです。当院では新たに HHD を導入できる体制を整えるため、医師、看護師、臨床工学技士、薬剤師、その他多くの部署が協力して準備を進めてきました。 この研究では、その準備の過程で作成された会議の議事録や手順書などの資料を整理し、どのような課題があり、どのように解決したか、その中で看護師がどのような役割を果たしたかをまとめます。今後 HHD の導入を検討する他の病院の参考となる情報を整理することを目的とします。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から（西暦）2026 年 9 月まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	●他の機関に提供する場合には、その方法

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
《利用し、又は提供する試料・情報の項目》	●研究に使用する試料・情報 情報：当院在宅血液透析（HHD）導入に向けたワーキンググループおよび事前打ち合わせの議事録、関連部署で作成された手順書・マニュアル類、フローチャート、緊急連絡体制資料、教育資料等 試料：使用しません。
《利用する者の範囲》	●機関名および責任者名 研究機関：浜松医科大学 石川 敬子
《外国にある者に対する試料・情報の提供》	この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。
《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》	国立大学法人浜松医科大学
《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)》	あなたの情報を研究に使用することを望まない場合には、問い合わせ先までご連絡いただければ、いつでも使用を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。
《資料の入手または閲覧》	この研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。希望された資料が他の研究対象者の個人情報を含む場合には、資料の提供または閲覧はできません。
《情報の開示》	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。また、本研究の参加者以外の方が情報の開

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
《問い合わせ先》	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 看護部 血液浄化療法部 担当者： 山下 有佐 TEL： 053-435-2111（代表） 内線 2756 E-mail： 07484731@hama-med.ac.jp